

当日配布用（改訂版）

国際安全保障学会

第10回定例研究会

2017年7月8日（土曜日） 13時10分～18時00分

同志社大学（今出川キャンパス）

良心館 RY105 教室

【ご注意】

- ・ 今出川キャンパスへのアクセスは下記にてご確認ください。
<https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/imadegawa.html>
- ・ 会場（良心館 RY105 教室）の位置につきましては、キャンパスマップ（本プログラム末尾に掲載）でご確認ください（京都市営地下鉄烏丸線今出川駅北改札からすぐ）。
- ・ 休憩は1回だけです。飲み物等は事前に購入してからお持ち込みになることをお勧めします。

受付開始：13時10分

開会：13時30分

総合司会： 関西定例研究会実行委員兼総務委員
山口 航（帝京大学助教）

開会の言葉 国際安全保障学会理事・定例研究会小委員会委員長
阪田恭代（神田外語大学教授）

国際安全保障学会理事・総務委員会委員長
神谷万丈（防衛大学校教授）

実行委員長挨拶 国際安全保障学会理事・関西定例研究会実行委員長
村田晃嗣（同志社大学教授）

副会長挨拶 国際安全保障学会副会長
土山實男（青山学院大学教授）

- ・ 今回の定例研究会開催にあたり、同志社大学から補助金を得ています。本研究会の運営において、関西定例研究会実行委員兼総務委員・中谷直司会員（三重大学特任准教授）の協力を得ました。ここに謝意を表します。

セッションⅠ：13時40分～14時35分

研究報告2 サイバー攻撃に対する制裁の考察
報告者 出口雅史（中央大学大学院法学研究科博士後期課程）
討論者 松村昌廣（桃山学院大学教授）
司会・討論者 村田晃嗣（同志社大学教授）

セッションⅡ：14時40分～15時35分

研究報告3 ミアシャイマーの通常抑止論の定量的検証—定量判断モデル分析
による1940年の西方電撃戦に関する再解釈の試み—
報告者 田代和也（大阪大学大学院国際公共政策研究科招聘研究員）
討論者 土山實男（青山学院大学教授）
司会・討論者 村田晃嗣

[休憩]（15分）

セッションⅢ：15時50分～16時45分

研究報告4 凍結された紛争のモデル：ゲーム理論による説明
報告者 澤田寛人（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士後期課程）
討論者 瀬島 誠（大阪国際大学教授）
司会・討論者 村田晃嗣

セッションⅣ：16時50分～17時45分

研究報告5 米国大統領交代に伴う「固有の決意作戦」作戦様相の変化について
報告者 古垣吏一（航空自衛隊幹部学校）
討論者 中西 寛（京都大学教授）
司会・討論者 村田晃嗣

閉会 ～18時00分

懇親会場のご案内

会場：Hamac de Paradis（アマーク・ド・パラディ）

住所：京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町 103（寒梅館 1 階レストラン）

電話：075-251-0880

- ・ 18 時 30 分開始予定。
- ・ 店には、閉会後に皆で向かう予定ですが（研究会終了後に別途アナウンス）、各自向かっていただいても結構です。

キャンパスマップ

懇親会会場（寒梅館 1 階レストラン Hamac de Paradis）

研究会会場（良心館 RY105 教室）



会場は京都市営地下鉄 烏丸線 今出川駅 北改札からすぐです